

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 奈良教育大学附属小学校
 種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 所在地 〒630-8301 奈良県奈良市高畑町
 E-mail : fusho@nara-edu.ac.jp
 Website : <http://www.nara-edu.ac.jp/ES/index.htm>
 児童生徒数：男子 278 名 女子 267 名 合計 545 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

6年生がヒロシマ修学旅行（2016年5月30日～31日）で学んだことを中心に、平和について全校みんなで考え合う取り組み。

1. 学習のめあて

- 世界で初めて核兵器の被害を受けた広島で、原爆で受けたきずあとを子どもたちが自分の目で確かめ、被爆された方の話を自分の耳で聞き、原爆のおそろしさを学ぶ。
- 広島で学んだ事実を自分の言葉で仲間に伝える。

2. テーマ

- 「ヒロシマの被害を見て聞いて真実を学び1～5年生に伝えよう」
(6年生の児童会役員を中心に6年生全員で決めたもの)

3. 事前学習の教材など

- 3つの“ひろしま”－「広島」－軍都
「ヒロシマ」－人類史上初の核兵器の被害を受けた都市。平和学習の原点
「広島」－西日本有数の工業・商業都市

- 原子爆弾のしくみと3つの被害の概要（爆風・熱線・放射線）
- 国語科／『平和のとりでを築く』（作・大牟田稔）
- 音楽科／『白い鳩』
- 絵本『伸ちゃんのさんりんしゃ』『まっくろなおべんとう』

4. 広島での学び（児童100人・教員8人）

- 元陸軍被服支廠と、この場で被爆された中西巖さんの話、爆風で曲がった鉄窓のスケッチ
- 被爆した御幸橋
- 広島平和記念資料館
- 西光寺の被爆墓誌
- 爆心地
- 平和公園－原爆ドーム、レストハウス（校長から保存運動についての話）、各碑めぐり
- 空鞆神社（熱線を受けて表面がくずれた狛犬）
- 「せこへい」像（世界のこどもの平和像）
- 元中国軍管区司令部地下通信室（広島城内）と、この場で被爆された岡ヨシエさんの話。
- 平和集会（原爆ドーム前） など

5. 事後学習の教材など

- 国語科／峠三吉『倉庫の記録』（詩）
- 記録映像（DVD）『平和公園に眠る故郷－CGでよみがえる記憶の町』（NHKドキュメント2010）
- 社会見学（12.15）／ピースおおさか・。

6. 全校に広める児童会活動

- ①5月24日（火）／たてわりグループのつどい
6年生が『白い鳩』を全校の前で合唱した。
6年生一人ひとりが、自分のグループのなかま（1～5年生）に、広島修学旅行のめあてを伝えた。
- ②6月14日（火）／たてわりグループのつどい
3時間目の全校集会で、6年生の児童会役員が「8月6日モリオの見た空」を1～5年生に読み聞かせ、原爆が投下されたときに広島がどのような惨状になったかを知らせた。
その後、4時間目に6年生一人ひとりが、自分の目と耳で確かめたヒロシマの事実をグループのなかま（1～5年生）に伝え、グループの全員から平和メッセージを集めた。
- ③6月21日（火）／全校集会
14日のグループのつどいのように6年生が全校に伝えた。

7. 取り組みの意義

広島修学旅行では、被爆者の岡ヨシエさん・中西巖さんから体験談を聞いた。それぞれ被爆された場所で、「そのとき・・・」「ここで・・・」「そこに・・・」とリアリティーをともなった話をされた。

岡さんも中西さんも、二度とこうしたことを繰り返してはいけないことを少しでも多くの人に話してほしい、と言われる。このことが、6年生が平和について全校みんなで考えようとする出発点になり、また大きな力になっている。

6年生のこうした学びや願いをもとに全校集会やたてわりグループの集いをもつことによって、全校みんなで平和や命を守るということについて考える機会を得ている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）